

記入年月日
平成 28 年 4 月 5 日

事務事業名		河川水質監視事業(水質監視員)					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	041103000234
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系	総合計画の施策名	0411 生活環境の保全					主要事業			環境対策課
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト			
	施策名	11	生活環境の保全				未来PJ事業		グループ	環境公害対策G
	基本事業名	03	公害防止活動の推進				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度～)	
	01	04	01	04	01	00	公害対策事業		 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 霞ヶ浦・北浦流域の水質汚濁、ごみの不法投棄等環境悪化の発生状況を的確にとらえる。また水質汚濁の未然防止を啓発し、地域住民の水質汚濁に関する意思を行政に反映させるため、水質監視員制度を設け水質保全対策の効果的推進を図る。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 会議(監視員研修会)の開催。 監視員による監視活動報告件数の集計。 水質汚濁事故調査及び原因の究明。看板等の設置。 監視員報酬の支払い(15,000円×21名=315,000円)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）
霞ヶ浦・北浦流域河川のパトロール、通報の際の現地確認及び対応。	パトロール実施日数	日	48.00	45.00	70.00	80.00	80.00
	不法投棄看板設置本数	本	19.00	23.00	25.00	25.00	25.00
	水質監視員研修会の参加人数	人	12.00	11.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）
市内の河川（一級河川・砂防指定地）	市内の河川数	本	42.00	42.00	42.00	42.00	42.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）
河川・湖沼の水質状態の把握。不法投棄の防止。	水質汚濁の通報件数	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	321	321	321	321	321
			事業費計（A）	千円	321	321	321	321	321
	人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
		述べ業務時間	時間	30.00	88.00	85.00	80.00	80.00	
		人件費計（B）	千円	87	255	247	232	232	
トータルコスト(A)+(B)			千円	408	576	568	553	553	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	315			01 報酬	315		
	11 需用費	6			11 需用費	6		
			合 計	321			合 計	321

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容

29年度の事業内容

30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	河川水質監視事業(水質監視員)	事務事業No.	41103000234	所属課	環境対策課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

霞ヶ浦・北浦流域における水質汚濁、ごみの不法投棄等、環境悪化の発生状況を的確に捉え資質汚濁を未然に防止し、水質保全対策の効果的な推進を図る。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	水質監視員からの通報で、水質汚濁の早期対応ができ未然防止につながっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域住民の水質汚濁に関する意向を充分行政に反映させるため、水質監視員制度を設け水質保全対策の効果的な推進を図る。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	水質監視員は、適正に職務を遂行している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	水質汚濁の未然の防止が困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最小限の経費であるため、削減は難しい。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の全河川が対象としているため公平である。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括（振り返り、反省点）																									
①目的妥当性	■ 適切	□ 見直し余地あり	⇒	水質監視員からの通報が、水質汚濁の早期対応・未然防止に役立っている。また、市民の水質浄化意識の向上にもつながる。																								
②有効性	■ 適切	□ 見直し余地あり																										
③効率性	■ 適切	□ 見直し余地あり																										
④公平性	■ 適切	□ 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性			(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																									
<div>□ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → <div>（複数回答可） □ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ 統廃合ができる □ 連携ができる</div></div> <div>□ 廃止 □ 休止 ■ 現状維持</div>			<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策			(6) 事務事業優先度評価結果																									
			成果優先度評価結果		④																							
			コスト削減優先度評価結果		⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>